

災害時の保健・医療体制の課題

広島大学病院 感染症科 大毛宏喜

医療活動の流れ

□ 発災直後

- 災害対策本部での情報収集
- DMATによる機動性のある人命救助

□ 48時間以降

- JMAT, 災害支援ナースによる地域医療支援

□ 避難所生活への支援

- DPAT, JRAT, 口腔ケア, 感染症対策
-

DMAT (Disaster Medical Assistant team)

- 災害派遣医療チーム
 - 急性期の医療活動と県庁での本部運営
 - 災害対策基本法に基づく防災基本計画にDMATの位置づけが記載されている
 - 都道府県の要請により派遣される
 - 平時より都道府県は医療機関と協定を結ぶ
 - 運用計画
 - 医療機関の指定
 - 人材育成, 登録
-

人命救助から診療への移行

- JMAT (Japan Medical Association Team)
 - 日本医師会災害医療チーム
 - DMATと入れ替わりに現地入り
 - 被災地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支援する
 - 日本医師会が都道府県医師会に対して要請
-

JMAT活動の流れ

- 被災地からの医療支援要請
 - 都道府県医師会から医療機関に派遣要請
 - 診療報告書を医師会に提出

 - 派遣費用, 医療従事者の保険などは医師会が負担
-

災害支援ナース

- 日本看護協会の災害時支援ネットワークシステムに基づき登録された看護師
 - 災害発生3日後から1ヶ月
 - 1人の派遣期間は原則3泊4日
 - 日本看護協会が保険加入し、交通・宿泊費を実費支給
 - 所属施設長の承諾のもと派遣
-

急性期以降の避難所への対応

- 精神保健医療
 - 初期は被災者
 - 10日目以降は支援者に対しても
 - リハビリテーション支援
 - エコノミー症候群の予防, 早期診断・治療
 - 口腔ケア
 - 感染症対策
-

DPAT (Disaster Psychiatric Assistance Team)

- 災害派遣精神医療チーム
 - 事務局は厚生労働省の委託事業
 - 都道府県からの派遣要請に基づき活動
 - 都道府県の災害対策本部の指示に従う
-

JRAT (Japanese Disaster Rehabilitation Assistance Team)

- 災害リハビリテーション支援チーム
 - 「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会」が運営
 - リハビリに関係する11団体が所属
 - 平時の人材育成
 - 本来都道府県との関与はないが、今回は広島県の調整本部会議に参加し活動
-

口腔ケアチーム

- 断水の状態の避難所では口腔内環境が悪化
 - 口腔ケア活動を支援
 - 歯科医師，歯科衛生士，診療支援部が活動
-

感染症対策チーム

- JMATの枠組みで派遣
 - 避難所における感染症予防策の指導
 - 症候サーベイランス
-

今回の災害の感染対策上の特徴

- 上下水道の破綻
 - 長期間の断水による手指衛生への影響
 - トイレ管理の困難さ

- 土砂災害後の土埃
 - 呼吸器感染症発生の懸念

消化器・呼吸器感染症対策の必要性

情報共有ツール(Googleマイマップ)

広島避難所情報
表示回数 655 回

すべての変更が Google ドライブに保存されました

レイヤを追加 共有 プレビュー

- 熊野町立体育館
- 熊野町立体育館
- 坂町小屋浦ふれあいセンター
- 小屋浦小学校体育館
- あきクリーンセンター
- 雇用促進住宅集会所
- 船木ふれあいセンター
- 北方コミュニティセンター
- 沼田西町町民センター
- 黒瀬保健福祉センター
- 東広島市社会福祉協議会 安...
- 安浦まちづくりセンター
- 東広島市 河内保健福祉セン...
- 天応まちづくりセンター
- 天応小学校 (体育館)
- 本郷生涯学習センター
- 坂町民センター

基本地図

坂町小屋浦ふれあいセンター

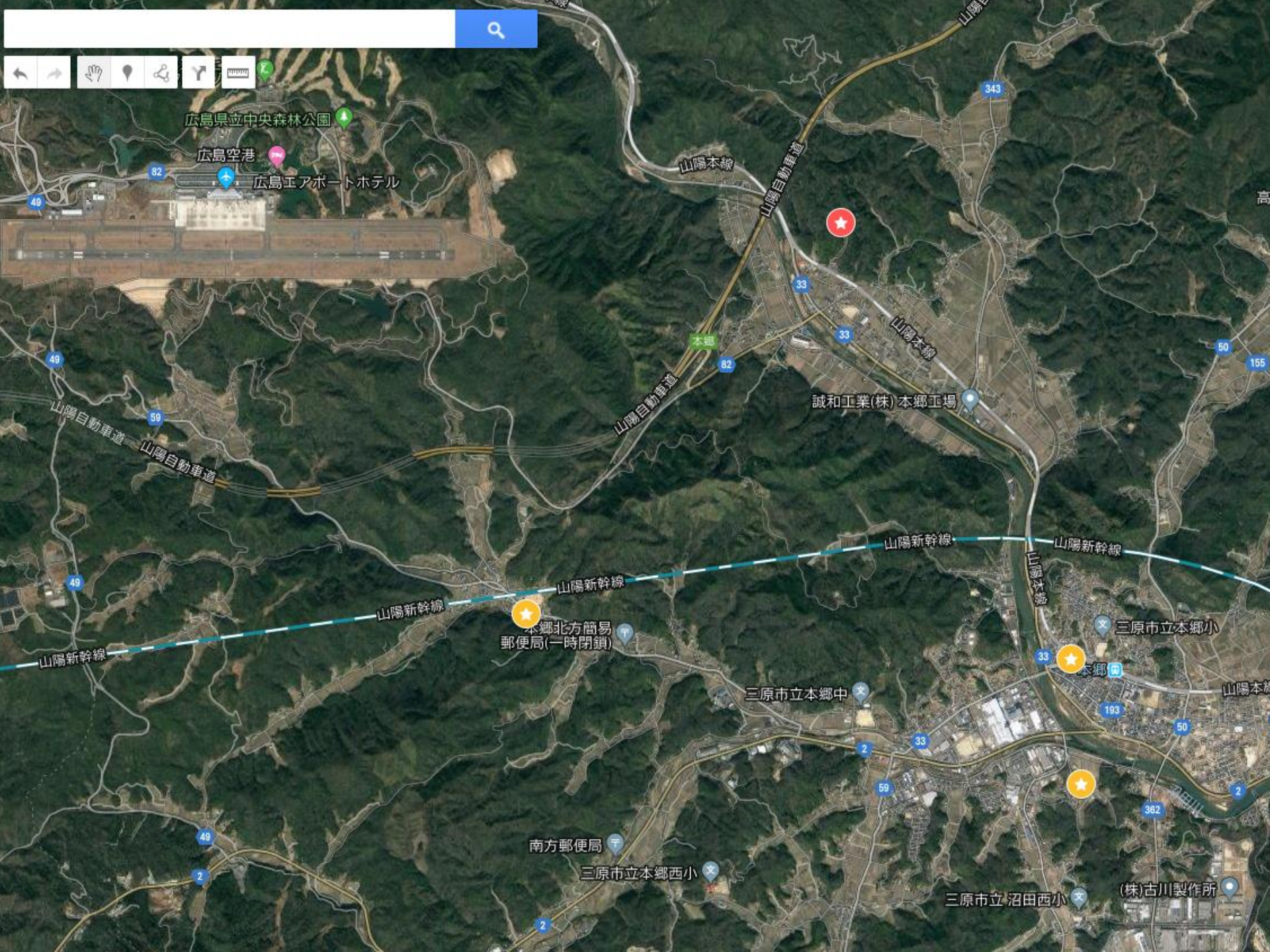
7/14時点：小学校と合わせて約200人（約半分は高齢者）
7/18 2回目訪問

避難者スペース

- 1 ホールなどに大多数が收容されている：ある
- 2 教室や部屋など、個別に收容する場所がある：ない。近くに救護所あり
- 3 居住スペースは土足禁止としている：館内は土足で、居住スペースは土足禁止としている
- 4 定期的に共有スペースを清掃している：しているが靴や服についた泥の持込が多く追いつかない → (7/18)入口で靴の汚染を除去して入ることで館内のフロア、階段等の汚染はない。
- 5 定期的に避難者の居住スペースの窓を開けて換気を行っている：エアコンが入っていないので開放

34.30199, 132.50922

Google My Maps



広島県立中央森林公園

広島空港

広島エアポートホテル

山陽本線

山陽自動車道

誠和工業(株) 本郷工場

山陽新幹線

山陽新幹線

山陽新幹線

山陽新幹線

本郷北方簡易郵便局(一時閉鎖)

三原市立本郷中

三原市立本郷小

本郷

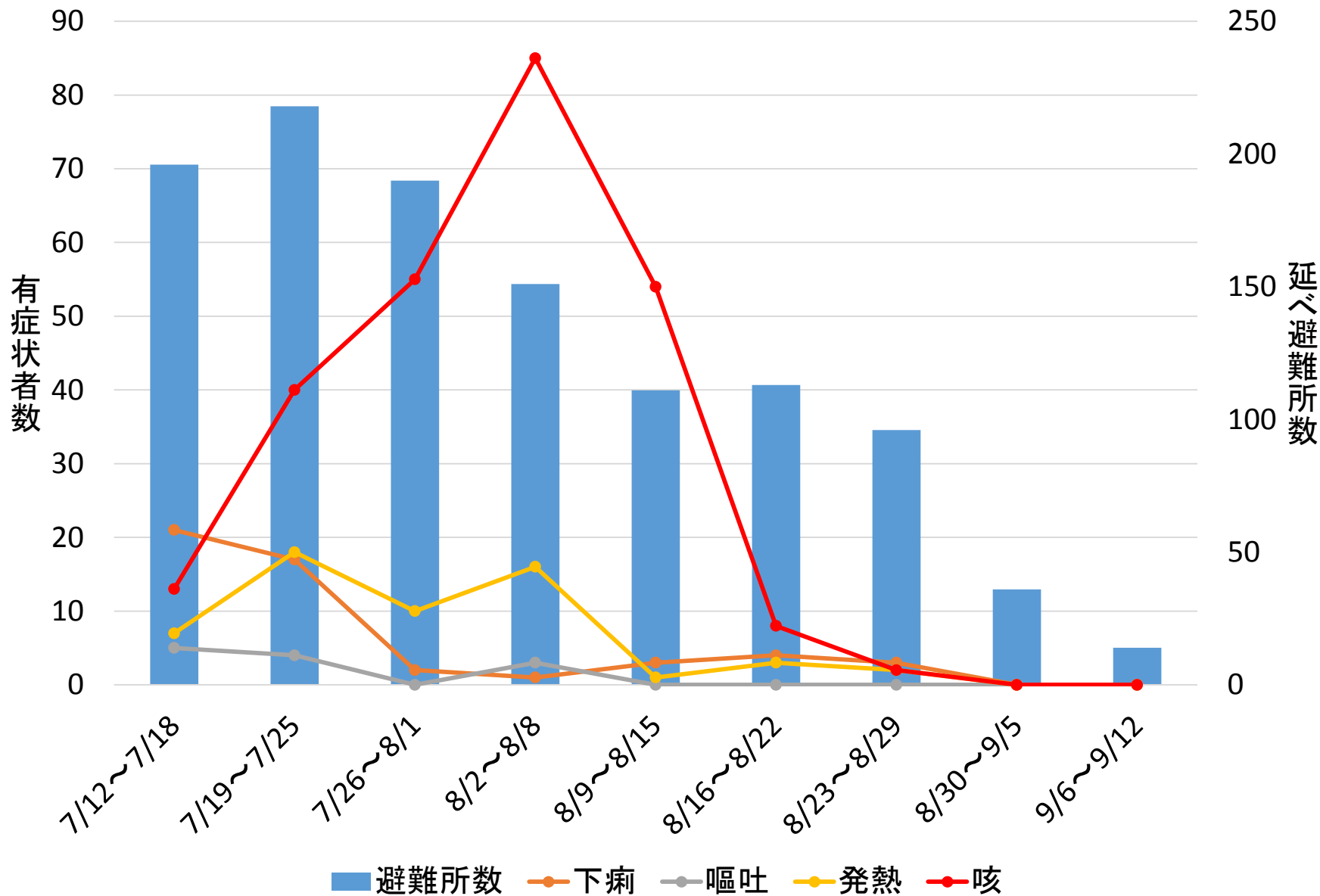
南方郵便局

三原市立本郷西小

三原市立 沼田西小

(株)古川製作所

避難所の数と有症状者数の推移



問題点1: 感染対策チームの活動根拠

- 災害対策基本法において、感染対策支援活動の根拠や指揮系統、身分保障が明確にされていない
 - JAMTの一員として感染対策チームを結成したことにより組織的な活動が可能となった
-

問題点2: 医療ニーズの把握が困難

- 県は市町の保健師からの情報が頼り
 - 市町毎に保健師の報告項目は異なる
 - 被害が大きい地域ほど情報が入らない
 - 日赤を含め、様々な団体が持つ情報が共有されない
 - ニーズが明らかでないため派遣できない
-

広島県調整対策本部



- 関係するチーム, 団体が毎朝県庁に集まり, 前日の報告と情報共有を行う
 - 全体の活動方針を確認
-

問題点3: 支援の範囲

- 感染対策の実施状況の確認と、それに応じた対策の見直しが実施できなかった
 - 避難所のための訪問で、在宅避難者への支援は行えなかった
-

結 語

- 各種保健・医療チームの情報共有と連携において自治体の果たす役割が大きい
 - 現場のニーズを汲み取る仕組みが必要
 - 避難所のみでなく、在宅避難者に対する支援体制の構築が求められる
-